

## 豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2024年 1月23日(火)	竹野振興局 地域振興課	0796-47-1111 (内線 5210)	小林昌弘 (参事)

(件名)

竹野の焼杉板のまちなみが「住まいのまちなみ賞」を受賞

(内容)

2023年度第19回住まいのまちなみコンクールで、竹野の焼杉板のまちなみとそれを保全する取組みが評価され「住まいのまちなみ賞」を受賞しました。

- 1 対象エリア**  
竹野浜自治会区
- 2 受賞団体**  
特定非営利活動法人 たけのかぞく
- 3 受賞の詳細**  
添付のとおり

### 【参考】対象エリアでの取組み

- 特定非営利活動法人たけのかぞくの取組み  
焼杉板を作るイベント「あつまれ～！ヤキータ」の開催や、移住希望者への空き家紹介活動を通して、焼杉板のまちなみ保全に取り組んでいます。
- 市の取組み「豊岡市焼杉板景観保全事業補助金」  
市では、対象エリアを景観保全エリアとし、家屋への焼杉板の設置に要する費用の一部を補助しています。詳細は市のホームページを確認してください。

《問合せ》竹野振興局地域振興課地域振興係(担当 松山)  
Tel 47-1111(内線 5212)



## ニュースリリース

2024年1月11日

報道関係者 様

東京都港区虎ノ門 3-11-15 SVAX TT 5階  
一般財団法人 住宅生産振興財団  
専務理事 釜谷 智弘

### 第19回住まいのまちなみコンクール 審査結果

「まちづくり月間」の関連行事として、一般財団法人住宅生産振興財団及び一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会が共催して「住まいのまちなみコンクール」を実施し、このたび受賞団体が決定しましたので、結果をお知らせします。

#### 趣 旨

我が国におきましては、人口の減少等を背景に、様々な社会的課題に対応した多世代が住み継ぐことができる価値あるまちなみの形成が求められています。このようなまちなみの形成には、地域の方々による、継続的な維持管理、運営、コミュニティの形成等の多様な取り組みが必要となります。

住まいのまちなみコンクールは、このような活動に取り組む住民組織の皆さまをまちづくりのモデルとして表彰し支援するとともに、これらの取り組みを各地でまちなみ形成に取り組む方々に広く情報提供し、活動の一助としていただくことを目的としています。

#### 概 要

##### [募集期間]

2023年5月1日～8月31日

##### [主催等]

- 主催 (一財)住宅生産振興財団、(一社)すまいづくりまちづくりセンター連合会
- 後援 国土交通省、(独)住宅金融支援機構、(独)都市再生機構、(一社)住宅生産団体連合会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一財)ハウジングアンドコミュニティ財団
- 協賛 旭化成ホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナソニック ホームズ、ミサワホーム、三井ホーム (株式会社を省略、五十音順)

##### [審査委員会]

- 審査委員長 大月 敏雄 (東京大学教授)
- 審査委員 岡田 昭人 (まちづくりプランナー)
- 菊池 雅彦 (国土交通省大臣官房技術審議官)
- 齊木 崇人 (神戸芸術工科大学名誉教授)
- 坂井 文 (東京都市大学教授)
- 佐々木俊一 (国土交通省大臣官房審議官)
- 森 まゆみ (作家・編集者)

(五十音順/敬称略)

## 審査結果 (五十音順／敬称略)

<p style="text-align: center;"><b>国土交通大臣賞</b></p> 	<p>団体名 地区名</p>	<p>特定非営利活動法人 りあすの森 北上川河口流域 伝統文化伝承地域（宮城県石巻市）</p>
	<p>まちの規模 組織種別</p>	<p>2.9ha／戸建 15 戸（現時点）／NPO 法人</p>
	<p>評価 ポイント</p>	<p>北上川河口域にある東日本大震災からの復興途上の農村・漁村。公的資金を使わず建設した復興住宅を宿泊施設へ再利用するとともに、築 100 年以上の蔵を海を臨む古民家カフェとして移転再生している。さらに、被災して数件となってしまった気仙大工による天然スレート屋根の伝統家屋の修繕に取り組み、昔のまちなみのパーツを大切に取戻す試みを続けている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>住まいのまちなみ優秀賞</b></p> 	<p>団体名 地区名</p>	<p>上郷ネオポリス自治会 上郷ネオポリス（神奈川県横浜市栄区）</p>
	<p>まちの規模 組織種別</p>	<p>46ha／戸建 852 戸／自治会</p>
	<p>評価 ポイント</p>	<p>起伏を生かし一体感を持つ土地に 50 年ほど前に開発された戸建て住宅地。コンビニを併設したコミュニティ拠点「野七里テラス」との連携など、開発事業者の協力を得ながら、多様な地元団体が様々なまちの空き空間を利用して再生活動を行っている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>住まいのまちなみ賞</b></p> 	<p>団体名 地区名</p>	<p>一般社団法人 西郷工芸の郷あまんじゃく 河原町西郷地区（鳥取県鳥取市）</p>
	<p>まちの規模 組織種別</p>	<p>4439ha（山林含む）／戸建 425 戸、集合 4 戸／社団法人</p>
	<p>評価 ポイント</p>	<p>水に恵まれた山裾の村。人間国宝の窯元を含む 3 つの窯元を核に、ものづくりの郷として移住者を増やす計画を策定。空き家を活用した移住支援は、住民がそれぞれの得意な分野で関与するなど、きめ細やかな取り組みを行っている。</p>
<p style="text-align: center;"><b>住まいのまちなみ賞</b></p> 	<p>団体名 地区名</p>	<p>特定非営利活動法人 たけのかぞく 竹野浜自治会区（兵庫県豊岡市）</p>
	<p>まちの規模 組織種別</p>	<p>170ha（山林含む）／戸建 606 世帯、集約 10 世帯／NPO 法人</p>
	<p>評価 ポイント</p>	<p>北前船の寄港地として栄えたまちに、住宅の外壁に焼杉板を使ったユニークなまちなみが近現代に形作られてきた。移住してきた若い人たちが地元の人と一緒に、焼杉板という建築材料を根子にして、まちおこしイベントや移住促進の活動を進めている。</p>

\* 受賞団体には、50 万円（1 団体・1 年あたり）を 3 年間、維持管理活動の推進のために支援します。

この資料についてのお問合せ  
 (一財) 住宅生産振興財団 沢田・石川 TEL 03-5733-6733 / FAX 03-5733-6736



国土交通省まちづくり月間関連表彰

2023年度  
第19回

# 住まいのまちなみ コンクール

エントリー期間

2023.5.1[月]→7.31[月]

応募図書提出締切 8.31[木]

受賞団体に年**50万円×3年**

※受賞団体には、50万円(1団体・1年あたり)を3年間、  
維持管理活動の推進のために支援します

つながり広がる  
まちづくりの輪

住民がつくった、  
緑あふれる  
快適な歩道や広場

住民と学園が協調、  
地域の理念を共有

2022年度 住まいのまちなみ優秀賞  
学園町自治会(東京都東久留米市)

2022年度 国土交通大臣賞  
加賀まちづくり協議会(東京都板橋区)

住民が主体となって、  
スマートに  
まちづくりを運営

2022年度 住まいのまちなみ優秀賞  
スマートコモンシティはら台自治会・管理組合・景観協定運営委員会(千葉県市原市)

若者たちと進める、  
歴史の継承と  
リノベーション

2022年度 住まいのまちなみ賞  
岡田街並保存会(愛知県知多市)

緑道が一体感を生み出し、  
住民の交流につながる

2022年度 住まいのまちなみ賞  
浦和美園 E-フォレスト自治会(埼玉県さいたま市)

あなたのまちの維持管理活動

## 募集

表彰 国土交通大臣賞1点、住まいのまちなみ賞数点を予定。

募集対象 良好な景観が形成されている一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。なお、戸建て住宅に限らず、集合住宅等の住宅地で活動している団体も対象となります。(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。)

審査委員会  
五十首順  
敬称略

審査委員長 大月敏雄(東京大学教授)  
審査委員 岡田昭人(まちづくりプランナー)、齊木崇人(神戸芸術工科大学名誉教授)  
坂井文(東京都市大学教授)、森まゆみ(作家・編集者)  
国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当)(予定)  
国土交通省大臣官房審議官(住宅局担当)(予定)

募集対象・応募図書・受賞事例など、  
詳しくは  
ホームページをご覧ください



【主催】一般財団法人住宅生産振興財団、一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会

【後援(予定)】国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、一般社団法人住宅生産団体連合会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

【協賛】旭化成ホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナソニックホームズ、ミサワホーム、三井ホーム(株式会社を省略、五十首順)

<https://www.machinami.or.jp/>



2023年度  
第19回

## 住まいのまちなみコンクール

エントリー期間

あなたのまちの維持管理活動を募集します 2023.5.1[月]→7.31[月]  
応募図書提出締切 8.31[木]同コンクールで  
全国90団体(過去18回開催)が  
受賞しています

我が国におきましては人口の減少等を背景に様々な社会的課題に対応した多世代が  
住み継ぐことができる価値あるまちなみの形成が求められています  
このようなまちなみの形成には 地域の方々による 継続的な維持管理 運営  
コミュニティの形成等の多様な取り組みが必要となります  
住まいのまちなみコンクールは このような活動に取り組む住民組織の皆さまをまちづくりの  
モデルとして表彰し支援するとともに これらの取り組みを各地でまちなみ形成に取り組む方々に  
広く情報提供し 活動の一助としていただくことを目的としています

## 募集対象

1. 良好な景観が形成されている一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちなみづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。  
ただし、伝統的建造物群保存地区内の住宅地は、除きます。なお、維持管理対象の住宅地の住宅は、戸建て住宅に限らず、集合住宅等も可です。

2. 対象となる団体は、次の両方に該当するものとします。  
ア. 地域の維持管理活動を行っている団体であること。  
イ. 地域の活動の根拠となる規約などが文書化されていること。

(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。なお、法人格の有無は問いません。)

## 選考方法

提出図書をもとに、審査委員会において選考します。  
なお、必要に応じて追加資料等の提出要請、現地調査を行う場合があります。

## 選考の主なポイント

次に掲げる取り組み等を特に評価します。

ア. まちなみに関する取り組み内容等

- ・維持管理している住宅地が、住まいの美しいまちなみ景観を有している
- ・継続的な景観維持活動を通じ、景観を育て、より成熟させている
- ・建築協定など、まちなみのルールを有している
- ・まちづくりにおける社会的課題に取り組んでいる  
(社会的課題への取り組みの例としては、活力の低下が見られる街の再生、脱炭素、防災、高齢化対応、子育て支援、空き家・空き地の利活用、住み替え支援、農ある暮らし等が挙げられます)

イ. 取り組みの体制

- ・多人数によるまちなみの維持管理活動が行われている
- ・多世代による取り組み、対象住宅地の外に住まわれている方との協働、複数の団体による協働等が行われている

ウ. 取り組みに関する期間

- ・一定期間継続してまちなみの維持管理活動が行われている

エ. 他地域に対するモデル性

- ・取り組みの内容等が、他地域で同様の課題に取り組んでいる団体のモデルになりうると認められる

## 応募方法

1. 提出様式…エントリー・応募図書の様式は当財団のHPからダウンロードしてください。
2. 提出方法…郵送またはメールで提出してください。
3. 個人情報について…応募者の個人情報は、運営に必要な範囲外の目的には使用いたしません。

※詳しくは当財団HPをご覧ください。

## 維持管理活動の支援

1. 支援方法 受賞決定後、受賞者と内容を協議の上、維持管理活動の推進費用として50万円(1団体・1年あたり)を3年間支援いたします。
2. 支援内容 維持管理の向上に関する団体活動等に充当してください。
3. 報告書の提出 所定の様式で報告書を提出していただきます。報告していただいた内容は公開します。
4. まちネットへの参加 これまでの受賞団体等をメンバーとして「すまいのまちなみネットワーク(まちネット)」として活動しています。お互いの活動の紹介等、情報交換や親睦を図っています。受賞団体には、本会への参加をお願いしています。
5. その他 活動状況の紹介等を行う場合にはご協力ください。

## 選考結果の発表

2024年1月に、応募者へ書面にて通知するほか当財団のHPにて公開します。

## 応募図書送付先[郵送またはメール]・問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば、下記事務局までご連絡ください。

一般財団法人住宅生産振興財団内 住まいのまちなみコンクール事務局  
担当 / 沢田・石川

〒105-0001東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル5階  
TEL 03-5733-6733 FAX 03-5733-6736  
Email/contest@machinami.or.jp

住宅生産振興財団ホームページ

https://www.machinami.or.jp

まちなみコンクール

検索



## 2022年度 第18回「住まいのまちなみコンクール」受賞団体紹介

【国土交通大臣賞】

## 加賀まちづくり協議会

(東京都板橋区)

約48.2ha/戸建約100戸、  
集合約4,000戸

加賀前田藩の下屋敷跡地に築かれてきた集合住宅中心の街。大規模マンションの建設を契機に、事業者とともにまちづくりに継続的に取り組んでいる。まちを散歩するのが楽しくなる通路や、緑あふれる歩道や広場などが人々の豊かな活動の場となっている。

【住まいのまちなみ優秀賞】

## 学園町自治会

(東京都東久留米市)

約40ha/戸建約1,300戸

自由学園がこの地にまち開きをしてから約100年間、住民と学園が協調しながらコミュニティを形成し、武蔵野のよさを残すまちなみを維持している。2008年に学園町憲章を制定し、地域の理念を改めて共有した。まちづくりの新たな機運が高まっている。

【住まいのまちなみ優秀賞】

## スマートコモンシティちはら台自治会・管理組合・景観協定運営委員会

(千葉県市原市)

約5.3ha/戸建207戸

クルドサックを中心としながら歩車共存を図る計画。開発業者から住民へ運営体制が早い段階で引き継がれ、住民が主体となって住民意見の集約や会議システムの構築等を進め、高度なエリアマネジメントを行っている。

【住まいのまちなみ賞】

## 浦和美園 E-フォレスト自治会

(埼玉県さいたま市緑区)

約2ha/戸建129戸

街区中央の背割り緑道に面する各住戸の敷地の一部に通行地役権を設定することで、住民が自由に通行できるコモンスペースを生み出した。ここを丁寧なランドスケープ計画により豊かな緑道として整備し、住民主体の維持管理が行われている。

【住まいのまちなみ賞】

## 岡田街並保存会

(愛知県知多市)

約26ha/戸建約150戸

知多木綿の特産地として栄えたまちで、谷沿いの地形に沿って建てられた家々が、見事な屋根並みを形成している。歴史的建物の保存・継承だけでなく、地元にある若者たちによって、古民家等のリノベーションによる活用が展開しつつある。